

伊高生、頑張っています!

13日 黒島で平和祈念祭

特攻兵題材の 創作劇披露へ

伊集院高校演劇部



黒島公演での頑張りを誓う伊集院高校演劇部員ら
＝鹿児島市のかごしま県民交流センター

伊集院高校(白置市)の演劇部が、13日に三島村の黒島で開催される特攻平和祈念祭で、島に不時着した特攻隊員を題材にした劇を披露する。部員らは本番に向け、練習に熱が入っている。

5/10(水)
南の風新聞

黒島公演に向け熱のこもった練習をする伊集院高校演劇部員
＝鹿児島市のかごしま県民交流センター



あらすじ

着。瀕死(ひんし)のやけどを負い、島のシナ、サダ姉妹の献身的な看護で一命を取り留める。別に不時着した特攻隊員との友情やシナとの淡い恋などが、後日談の形で描かれる。

黒島は太平洋戦争末期、本土から沖縄方面へ出撃する特攻機の通過点になっており、機体不良などで多くの不時着、墜落があった。島人に救助された隊員の話は、これまで書籍化や映像化されている。
演劇部顧問の上田美和教諭が、これらを参考に島にも足を運んで、創作劇「See you tomorrow(シーユ トゥモロー)」の脚本を仕上げた。
昨年鹿児島市であった九州高校演劇研究大会に出場。観覧していた三島村役場関係者から祈念祭へ

本番向け練習に熱

の打診があった。3月に3年生が卒業し、4月以降は配役を一部変更して練習に励んできた。
5月4日は鹿児島市のかごしま県民交流センターで、照明などを使った本格的な通し稽古を実施。主役の特攻隊員・柴田を演じる2年の上江聖さんは「柴田になりきって喜怒哀楽を表すことで、存在感を示したい」。柴田を看護する島の娘シナ役の3年・菊永紅彩さんは「特攻隊員の心情を理解するため、知覧特攻平和会館にも行った。島の実在の人物なので丁寧に演じたい」と語った。
(重島修一)

太平洋戦争末期、知覧飛行場を飛び立った特攻隊員・柴田の機体がエンジンの不調で黒島に不時